

令和 7 年度土地改良補償士試験問題の出題範囲と形式及び採点基準

問題の出題範囲と形式	配分点数	合格点	備考
記 述 試 験			(試験時間)
<p>問題 1 土地改良事業における用地調査等業務（用地測量、用地調査、用地補償）に関し、次の項目について全体で 1, 6 0 0 字以内で述べよ。</p> <p>(1) 土地改良補償士の主たる業務内容</p> <p>(2) あなたが用地調査等業務の従事者として経験した、業務の概要及びその業務における立場と役割</p> <p>(3) 上記 (2) で述べた業務上の検討課題と解決策、又は補償の検討項目と内容等</p>	4 0 点	2 0 点以上	10 : 30～ 12 : 00 ( 9 0 分)
休憩（答案用紙回収時間時間を含む。）			( 6 0 分)
<p>問題 2 土地改良事業に伴う用地等の取得および損失補償要綱に関し、次の事項の中から<u>一つ</u>を選び 8 0 0 字以内で述べよ。</p> <p>(1) 損失補償要綱の内容について</p> <p>(2) 農業補償について</p>	3 0 点	1 5 点以上	13 : 00～ 15 : 00 ( 1 2 0 分)
<p>問題 3 土地改良事業の施行に起因する事業損失の概要に関し、次の項目の中から<u>一つ</u>を選び 8 0 0 字以内で述べよ。</p> <p>(1) 因果関係の判定について</p> <p>(2) 受忍限度の判断について</p>	3 0 点	1 5 点以上	
合 計	1 0 0 点	6 0 点以上	
<p>【注】</p> <p>(1) 合格点は、それぞれの問題の配分点数の 5 割以上で、かつ合計が 6 0 点以上とする。</p> <p>(2) 上記による採点結果を踏まえた可否の判定は、「土地改良補償士運営委員会」において行う。</p>			